



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2 0 2 2 年 3 月 1 8 日

日本鉄道労働組合連合会

## JR九州労組2022春闘交渉妥結

・仕事給昇給額表に掲げる仕事給昇給の実施

・年度末一時金 30,000 円

・制度改正(7項目)

嘱託再雇用社員の特別休日増(年間+12日)

育児休職の分割取得

など

JR九州労組は本日、2022春季生活闘争の第4回団体交渉を行い、会社から上記の回答が示された。

回答を受けてJR九州労組は「会社を取り巻く環境を踏まえれば、業績の回復・反転攻勢に向けた取り組みが必要となる中、ベアゼロ回答は組合員のモチベーション維持の観点から不満である。若年層の離職増加、高年齢者の賃金改善、出向者に対する制度適用拡大等の課題は残されたままであり、人への投資も積極的に進めていくべき」と指摘。併せて2020春闘時に会社が言及した人事・賃金制度の見直しに対しても課題解決を図るために積極的な議論を要請した。一方、会社は「厳しい経営状況の中、ベースアップの実施は困難である。しかしながら、BPRプロジェクトの完遂に向け、懸命に取り組む社員の努力に報いるべく、一時金の支払いを決断した。4月から新体制において新しい経営計画のもと経営のV字回復を実現させるため、労使一体となって頑張ってきた」との見解が示された。また、人事・賃金制度改正に対しては、「千載一遇の機会でもあることから本気で取り組んでいく考えであり、組合からの協力もお願いしたい」と述べた。

JR九州労組は、ベアゼロ回答に大きな不満は残るものの、「業績が回復した場合の組合員への還元が不可欠」として求めた年度末一時金が示されたことなどから、現下の取り巻く経営環境等を踏まえ、これ以上の要求前進は困難と判断し、席上妥結した。